

磐城時報

日刊 廿三 日
編輯兼發行人 岡田 弘成
印刷 所 磐城時報印刷所
發行 所 磐城時報印刷所
〒970 磐城 石城町 磐城時報印刷所
電話 二二二二
廣告刊行料 毎月金廿五
訂代料 毎月金五十
▲日刊(日曜、祭日)休刊

皇太子殿下御誕生

(宮内省告示)

皇后陛下には今二十三日前六時三十九分御分娩、めでたく皇太子殿下御誕生遊ばされた
(宮内省發表)皇后陛下二十三日前六時三十九分宮城に於て御分娩親王御誕生あらせらる

平町急施町會

井上議長の名を以て直に御祝電發電

(別項)平町では親下殿下御降誕萬場總起立裡に一致可決議長井上の公報に接し急施町會を召集、上茂作氏の名を以て宮内大臣井上議長以下全員出席井上議長皇后宮太夫、皇太后太夫に發電指名の起草委員が謹んで草案の手續を了したる天機並に御氣嫌奉伺の電文を

御滯平最後の日

小名築港御視察 工事全般御視察

御滯平最後の御一夜を御旅館住記念の御撮影あり南部武官陪飛吉屋本店に明せられた東久通第自動身に召され倉茂參謀、知事三師團長宮殿下には正午前九時代理赤土内務部長以下隨行内郷御旅館正面玄關前に於いて本店湯水、玉川の沿道に塔列の奉迎主青天目源一郎氏、同夫人、同群衆に擧手禮を賜ひながら小名太郎氏、山本所長に單獨賜御一時五十分同工場を御發平驛に母堂、同令姉外家族一同と共に濱町御着、築港事務所にお成り少憩の後別室に於かせられて赤御着諸員奉送裡に常盤線下列車

淋しくはないか

燈臺看守長夫人に有難き御言葉も賜はる

豊間村境谷野燈臺下に御着の第豊島所長御案内で海抜三百余尺二師團長宮殿下には傷病兵遺族の燈臺白亜の塔上にとりせられに御慰問の御言葉も賜ひ鈴木村一里千里の太平洋上をいとも御長の御案内で御徒歩にていとも奥深げに御視察御歸還の途次看御元氣に隨行の赤土内務部長、守長官舎前に御奉送申上げた豊渡警察部長に種々御下問遊され島氏夫人静子さんに「淋しくはないか急坂を攀らせられて燈臺はないか」と御懇ろな御言葉をに御着御少憩の際同村馬目仙十場は御案内の鈴木村長に村狀郎氏令嬢美代子(二四)さん看守其の他種々御下問遊ばされながら長豊島兼治郎氏令嬢千尋子(三三)ら再び自動車に召され平に向つさん兩名の奉る御茶菓を召されて御發あらせられた

郡内御視察終了

片倉にて御會食を賜る 午後一時五十八分御離平

豊間燈臺を御發遊ばされた師團木内務部長、渡警察部長、倉茂長官殿下には高久、飯野村を御參謀中佐、南部御付武官、青沼通過中町片倉燈臺製糸工場に成平町長、井上、野崎、萩原三縣らせられた時に正午五分過ぎに會議員、諸橋久太郎氏、山本所長、正門内に塔列奉迎の平町戰傷長に御會食の榮を賜はり午後一病兵並に遺家族端山正男、岸本時三十分工場内の設備其の他を重雄、飯山近治、佐藤よね氏外御視察の諸橋重役、山本所長の十三名にいと御懇ろな御言葉御説明に御耳を傾けさせられたを賜はり諸橋重役山本所長御案斯くて三日間に亘る石城郡下産内で貴賓席に成らせられ諸橋久業御視察も全く終了せられ午後分發炭は總利益金八十萬圓の一割八萬圓をポント抛出して全従

特にお召の光榮

豊間局長遠藤章君 麻布三聯隊長御在任中の兵士

豊間燈臺下に御着同村傷病兵戰業員にボーナスを支給する事と死者遺家族に御慰問を賜はつたなつた

修築進捗

豊間漁港 四倉の鈴木行男君

四倉中町鈴木光次氏三男行男君は一昨年東京野野電信隊に入隊し満州事變に従軍して居たが此の程原隊に凱旋したが十二月廿六日午後二時十五分四倉着列車で凱旋除隊をなす

平料理屋組合總會

組合長以下の幹部改選

平町料理屋組合では組合費の袋八十錢の低廉で朝火を入れる負擔方法並に組合長以下收選の爲め今二十三日前十一時から同町料亭末廣に總會を開催從來等級による組合費の負擔を玉代一本に對し六厘宛組合費として納入する原案に對し質問續出容易に決定せず本稿切までは組合長以下の改選は行れなかつた

明日出發

四倉署より植田署に榮轉した石井巡査は明日二十四日午前十時十八分四倉驛發にて出發する

阿部石炭店の豆炭好評

木炭需要期に入り木炭は奔騰する一なので一般家庭では殆んど困り切つてゐるがこの時に際し平町前阿部石炭店が發賣してゐる豆炭は火力火持ちが木炭に比る遙かに優れてゐる上價格は一

郷土祭

第二校のプログラム
平第二小學校では郷土祭を執行することになり準備を急いでゐるが愈々二十七日午後六時から同校講堂で盛大に舉行することとなつた確定した
第一「私の家」郷土祭のプログラムで四人の對話
第二「龍王様」(好問村金成家に傳はる蛇ヶ淵の傳説を劇化した)内見物(中町市内の名所古蹟紹介劇)第四「大塚中佐」植竹源太郎氏の原作を脚色した
第五「海」の幸、山の幸(現代と平安朝に亘り勿來の古關を背景とした回廊)第六「安藤對馬守」(偉人信正公の一面)第七「徳尼」(尼子橋由來の劇化)第八「澤村公と水森氏」以上

病兵、戦死者遺族に一一御慰問に召され一時五十八分いとも御氣嫌うるはしく御發遊された

の御言葉を賜はり事務所に御少憩赤土内務部長、福來築港所長の御説明を御聽取遊ばされた上築港岸壁に急造された御展望臺に上らせられ築港内を詳細に御視察再自動車に召され江名町を御通過豊間燈臺に向はせられた

遊され「遠藤はさうした」とこの御言葉あり南部武官は海岸近く塔列奉迎中の同村在郷軍人分會員席に馳せ付けて遠藤章を御前に御召の旨を傳へたので遠藤君は感激に類えながら御側に仕伺殿下より特に「遠藤今何をして居るか、身體は丈夫か」との有難き御言葉あつた

因に特にお召の光榮に浴した遠藤君は現在同村郵便局長を奉職中の海備上等兵で殿下が聯隊長官として東京麻布三聯隊御在任中入隊御親しく御統率あらせられた兵士で古い御記憶を御辿らせられ御召の御誼あつたものである

▲平消防夜警 平消防組では例年通り二十五日から組員交代で全町の夜警を開始する

▲配當は五分 磐城、入山共 三日東京本社に於いて株主總會を開催今期利益金の配當を附議した結果兩社共今期配當は五分の豆炭は火力火持ちが木炭に比る遙かに優れてゐる上價格は一

◎十二月二十日より廿五日まで六日間
歳末奉仕大賣出し
 ◎平素の御愛顧に酬ゆる特別大特價奉仕です◎
 ◎七五三祝洋品◎
 ◎年末御贈答用品◎
正 中野洋品店
 平二・電話五三番

油と味の合
山崎合名會社
 福島縣平町
 電話(營業部専用)一〇番
 (一般用)四二七番
 振替東京一九七五五番
 明治生命 磐城代理店 山崎與三郎

家庭必備品 工業用煉石鹼
 油氣と汚れとはごんな物でも奇麗に落ちます、手の荒れる事はありません
 小罐——四十錢(特賣中三十錢)
 平町三丁目
 東北一手販賣元 **小鍛治永助商店**
 電話三三三番

小倉服賣出し
 小學生 中學生 小學生
 中學生 特製A 特製B
 一圓六十錢 一圓六十錢 三圓五十錢 三圓五十錢
 紺ヘル 三圓二十錢ヨリ
 平町 **正札堂洋服店** 電話四三六

牛豚肉
 平町田町
 三三三三屋
 電話三三三番



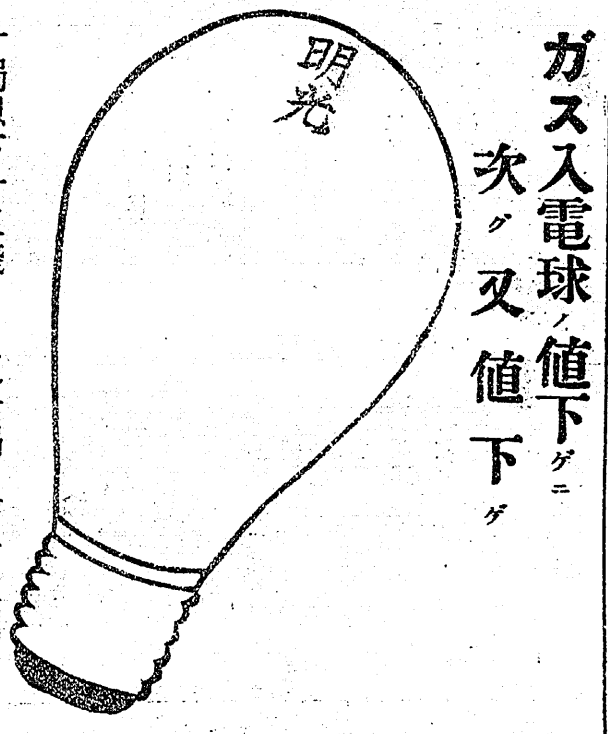
袋製造 賣販
 袋種各一糖砂一子菓
 平町一丁目大商店
 鈴木製袋所
 川永澤洋洗濯店

耳鼻咽喉科専門
氣管食道科専門
 病室完備：自炊の便あり
 平町南町 **大和田醫院**
 電話一七〇番

外科 一般外科 内臓外科
性病科 X光線科
 入院隨意(自炊の便あり)
 元赤心堂病院跡
安齊外科醫院
 電話四七五

外科 花柳病科 専門
 平町六丁目橋際
木村外科醫院
 電話三〇九番

全世界に消化... 榮養... 治療... 兼備せる
ヒターゼ
 代表的の活性
 活性(ヘーフェ主)を成せる本劑は體力増進榮養素として
 養養障礙、食慾不進、各種慢性胃病、胃炎、胃腸炎、
 ン缺乏症、脚氣、便秘、結核性諸症、肋膜炎、腦神經
 衰弱、血脈充進、浮腫、病後回復期、ジンマシン、嬰
 兒綠便、乳兒脚氣、妊産婦の衰弱、乳汁分泌不足、
 其他身體諸機能の新陳代謝を旺盛にす。
 一回の御試用を以む。
 平町五丁目
平町專賣店 山野邊藥局



ガス入電球 値下
 次々又値下
 十燭以下十一錢... 五十燭マデ十八錢
 (御電話ガアラバ届ケマス)
 平三 **大谷時計病院**
 眼鏡科
 電話十九番
 店員 女中 大至急募集 (年齢十五歳前後)

急性慢性を問はず
淋疾は立派に全治す
 (一)淋疾尿道炎、(二)消濁、(三)膀胱カタルには驚く可き効目がある
高級治淋新藥 トリプチン
大平屋藥店
 電話六四二番
 特約店

謹啓社長佐々木喜代治儀病氣の處養生不相叶本日午後三時二十分死去仕候間此段御通知申上候 敬具
 追而葬儀は来る十二月二十四日午後二時自宅出棺於大寶寺告別式施行仕候間申添候也
 昭和八年十二月廿二日
株式 丸はん商店